

AsReader

アプリケーション

AsBrowser

操作説明書

目 次

1 バージョン情報	3
1.1 バージョン	3
1.2 ライセンス	4
2 設定画面	5
3 AsReader 設定	6
3.1 AsReader DOCK 設定	6
3.1.1 スキャンボタンの表示	7
3.1.2 Beep（ビーブ音）	8
3.1.3 Aimer（照準ポインター）	8
3.1.4 Vibration（バイブレーション）	8
3.2 AsReaderGUN 設定	9
3.2.1 Vibrator（バイブレーション）	10
3.2.2 Buzzer（ブザー音）	10
3.2.3 Continuous Mode（連続読取モード）	10
3.2.4 Idle Time（アイドル時間）	11
3.2.5 Inventory Time（インベントリ時間）	11
3.2.6 Auto Off Time（自動オフ時間）	12
3.2.8 Inventory Session（インベントリセッション）	12
3.2.9 Power Gain（電波出力）	13
3.3 LongRange2D 設定	14
3.3.1 Vibrator	14
3.3.2 Buzzer	15
3.3.3 Auto Off Time（s）	15
3.3.4 Sleep Time（s）	15
3.3.5 Scanner Time Out（s）	15
3.4 AsReader Finger-Type 設定	16
3.4.1 AsReader Finger-Type 接続	16
3.4.2 エンコード	17
3.5 「AsReader Camera Type」使用	18
3.5.1 カメラへのアクセスを許可	18
3.5.2 認証成功	19
3.5.3 認証失敗	21
3.5.4 スキャン画面	24
3.5.5 設定	25
3.6 スキャンボタン設定	26
3.7 App のスキャン音設定	26
3.7.1 スキャン音	27
3.7.2 カスタム音	27
3.7.3 カスタムバイブレーション	28
3.7.4 通知音設定	28
3.8 接続先 URL	30
3.9 タイムアウト	30

3.10 読取時に古い入力値を上書き	31
3.11 readonly 属性を無視	32
3.12 PC 値を表示するかどうか	32
3.13 Tab 読取で次項目へ移動	34
3.14 読取後の機能	34
3.15 読取完了まで新規読取を無視	37
3.16 AsReader バッテリー残量表示	37
3.17 ナビゲーションバー	38
3.18 ツールバー	41
3.19 ホームボタン設定	44
3.20 リフレッシュボタン設定	44
3.21 タグ一覧画面の“+”ボタンの表示	45
3.22 ブックマーク	46
3.23 ボタンで戻る・進む	49
3.24 スワイプで戻る・進む	50
3.25 デスクトップ用 Web サイトを表示	51
3.26 ユーザエージェント	52
3.27 キャッシュクリア	54
3.28 Safari 連携機能	55
4 アプリ許可ドメイン一覧	56
5 APP を起動	57

1 バージョン情報

端末のシステム設定画面に入って、AsBrowser のバージョン情報およびライセンス情報を確認できます。

情報	
バージョン	>
ライセンス	>

図 1-1 情報

1.1 バージョン

「バージョン」をタップすると、App 及び対応している AsReader のバージョン情報画面に遷移します。

< AsBrowser バージョン	
APPバージョン	2.2.0
AsReaderDock SDKバージョン	4.4.0
GUN SDKバージョン	2.8.0
AsRing+ SDKバージョン	2.2.0
AsCamera SDKバージョン	1.4.0.1
LongRange2D SDKバージョン	1.1.0

図 1-1-1 バージョン情報

1.2 ライセンス

「ライセンス」をタップすると、ライセンスの詳細画面に遷移します。

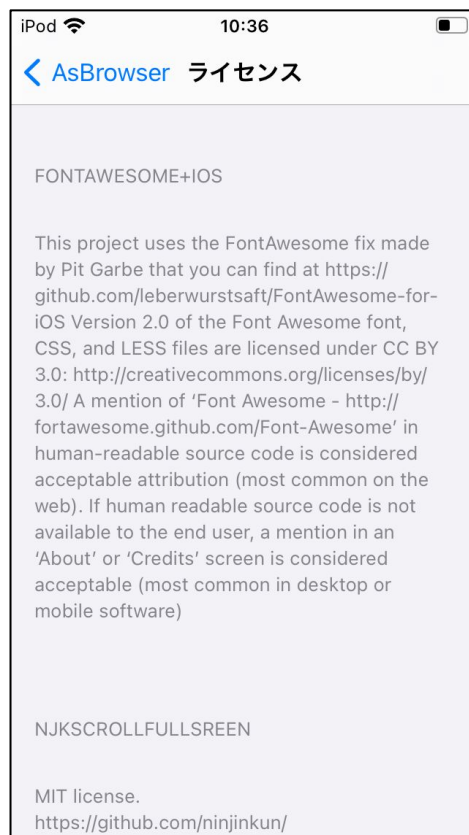


図 1-2-1 ライセンス情報

2 設定画面

アプリを起動して、右下のアイコンをタップすると、設定画面に遷移します。
この画面でアプリに対して各種設定が行えます。

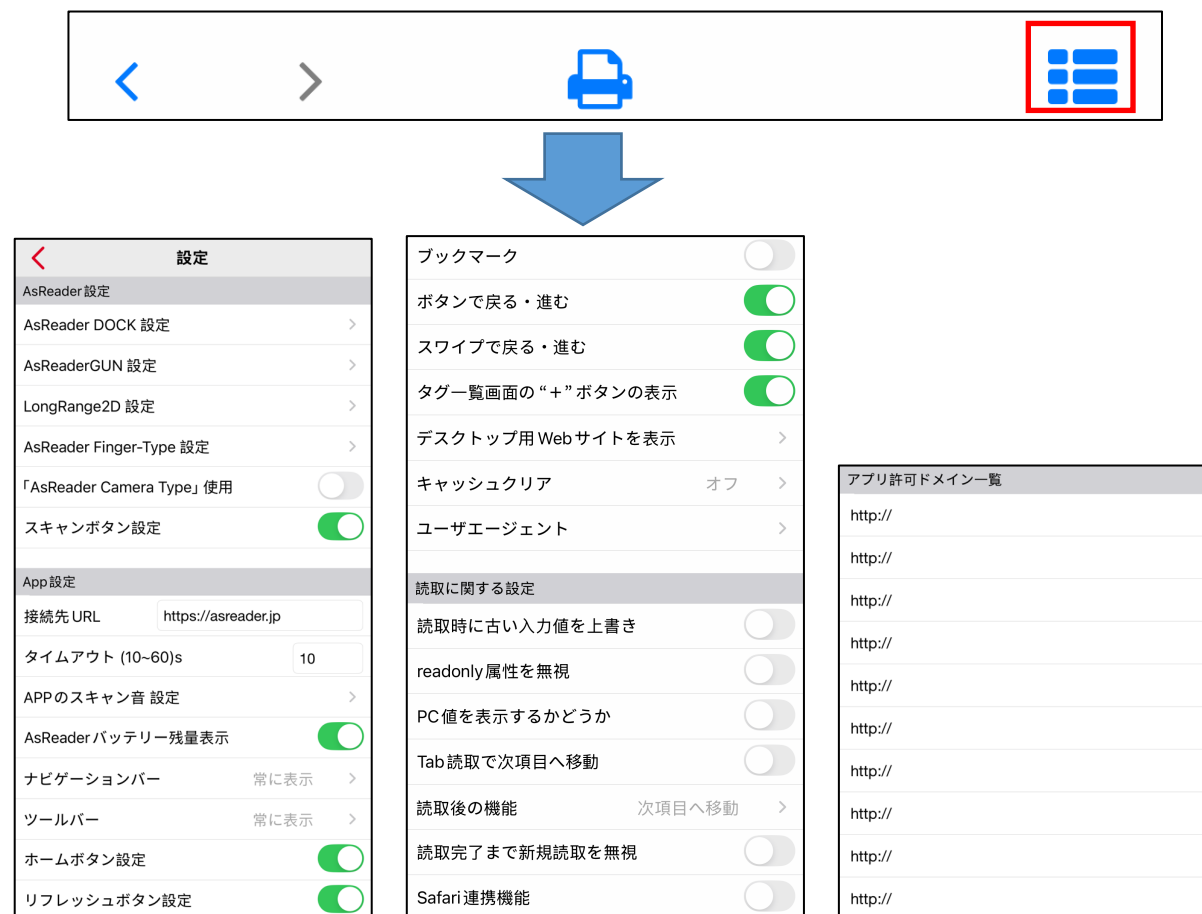


図 2-1 設定画面

3 AsReader 設定

3.1 AsReader DOCK 設定



図 3-1-1 AsReader DOCK 設定

AsReader DOCK 設定をタップします。
AsReader DOCK 設定画面に遷移します。



図 3-1-2 AsReader DOCK 設定画面

3.1.1 スキャンボタンの表示

初期値：Off

AsReader を接続する際に、WEB 画面で「Read」ボタンを表示するかどうかを設定します。

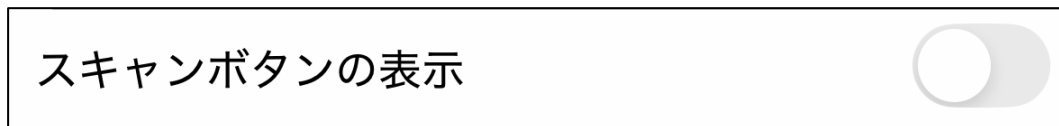


図 3-1-1-1 スキャンボタンの表示

スキャンボタンの表示を On にすると WEB 画面で「Read」ボタンが表示されます。

「Read」ボタンをタップすると、バーコードスキャンができます。

対象デバイス：010D、020D、022D、030D、0230D、0240D



図 3-1-1-2 スキャンボタンの表示を On

3.1.2 Beep（ビープ音）

初期値：On

Beep の ON/OFF の設定ができます。

Beep が ON の場合、次のタイミングで Beep が鳴ります。

- 1.スマートデバイスと AsReader の接続時
- 2.RF タグまたは 1D/2D コード読取時

対象デバイス：010D、020D、022D、030D、0230D、0240D



図 3-1-2-1Beep

3.1.3 Aimer（照準ポインター）

初期値：On

1D/2D コード読取時のレーザー照射を ON/OFF にします。

※520R、020D では、ON にすると照準ポインターが継続して照射されます。

OFF にすると読取時のみ照準ポインターが照射されます。

対象デバイス：520R、020D、022D、0230D、0240D

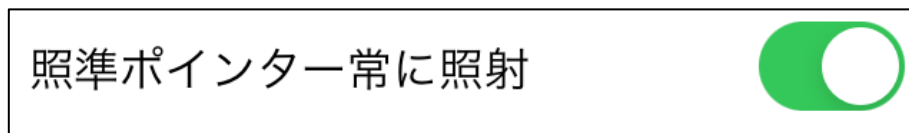


図 3-1-3-1Aimer

3.1.4 Vibration（バイブレーション）

初期値：On

1D/2D コード,RFID 読取時のバイブレーションを ON/OFF にします。

対象デバイス：010D、020D、022D、030D、0230D、0240D



図 3-1-4-1Vibration

3.2 AsReaderGUN 設定

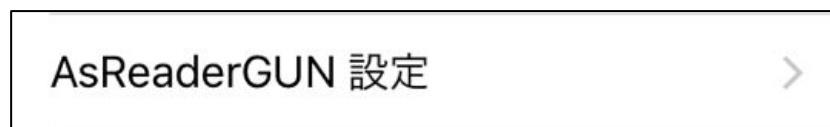


図 3-2-1 AsReaderGUN 設定

AsReaderGUN 設定をタップします。
対象デバイス : ASR-R250G, ASR-L251G

AsReaderGUN 設定画面に遷移します。

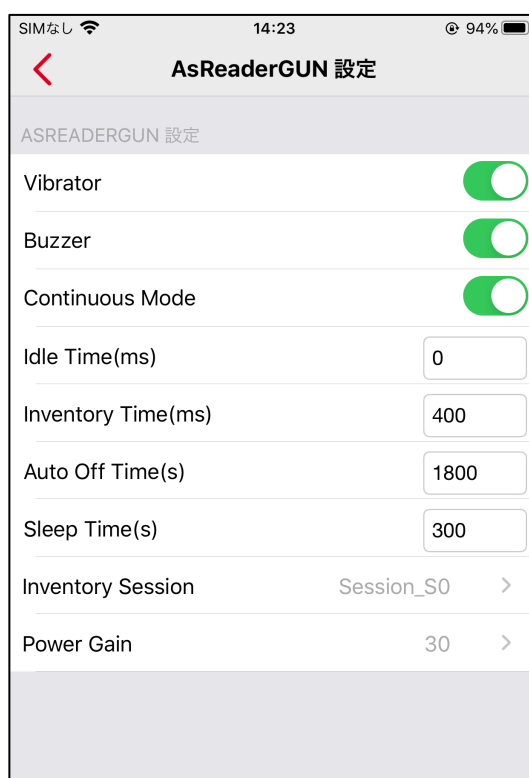


図 3-2-2 AsReaderGUN 設定画面

3.2.1 Vibrator（バイブレーション）

初期値：On

バイブレーションの ON/OFF を設定できます。ON の場合、次のタイミングで振動します。

- 1.AsReader の電源 ON/OFF 時
- 2.スマートデバイスと AsReader の接続時
- 3.RF タグまたは 1D/2D コードの読取時



図 3-2-1-1 Vibrator

3.2.2 Buzzer（ブザー音）

初期値：On

Buzzer 音の ON/OFF を設定できます。ON の場合、次のタイミングで Buzzer 音が鳴ります。

- 1.AsReader の電源 ON/OFF 時
- 2.スマートデバイスと AsReader の接続時
- 3.RF タグまたは、1D/2D コードの読取時



図 3-2-2-1 Buzzer

3.2.3 Continuous Mode（連続読取モード）

初期値：On

連続読取の設定ができます。ON にすると、AsReader のトリガーを押している間は連続して RF タグの読取を行います。



図 3-2-3-1 Continuous Mode

3.2.4 Idle Time（アイドル時間）

初期値：0

単位：ms

RF タグ読取時の電波の送信休止時間を設定できます。

※Idle Time は各国の電波法令により下記の範囲での設定が義務付けられています。ご利用の際は、この範囲内で設定を行なってください。

規格	Idle Time
日本 電波法	50ms 以上
米国 FCC	20ms 以上
EU CE	100ms 以上

注意：Idle Time と Inventory Time は同時に 1 以上を設定しなければ、読取時に Idle Time が無効になります。

Idle Time(ms)

0

図 3-2-4-1 Idle Time

3.2.5 Inventory Time（インベントリ時間）

初期値：400

単位：ms

RF タグ読取時の電波の送信時間を設定できます。Inventory Time を長くすると、条件により読取が速くなりますが、消費電力が大きくなるため、バッテリーの使用時間が短くなります。

※Inventory Time は各国の電波法令により下記の範囲での設定が義務付けられています。ご利用の際は、この範囲内で設定を行なってください。

規格	Inventory Time
日本 電波法	4000ms 以下
米国 FCC	400ms 以下
EU CE	4000ms 以下

Inventory Time(ms)

400

図 3-2-5-1 Inventory Time

3.2.6 Auto Off Time（自動オフ時間）

初期値：1800

単位：s

AsReader の電源が自動で OFF になるまでの時間を設定できます。

ASR-R250G：スリープになってから電源が OFF になるまでの時間。

ASR-L251G：AsBrowser が AsReader と接続されていない状態で電源が OFF になるまでの時間。

Auto Off Time(s)	1800
------------------	------

図 3-2-6-1 Auto Off Time

3.2.7 Sleep Time（スリープ時間）

初期値：300

単位：s

AsReader がスリープになるまでの時間を設定できます。

Sleep Time(s)	300
---------------	-----

図 3-2-7-1 Sleep Time

3.2.8 Inventory Session（インベントリセッション）

初期値：Session_S0

タップすると、Inventory Session の選択画面に遷移します。

RF タグの応答時間を調節することができます。

読取速度は S0>S1>S2/S3 です。（S0 の読取速度が最速）

Inventory Session	Session_S0	>
-------------------	------------	---

図 3-2-8-1 Inventory Session

選択リスト：

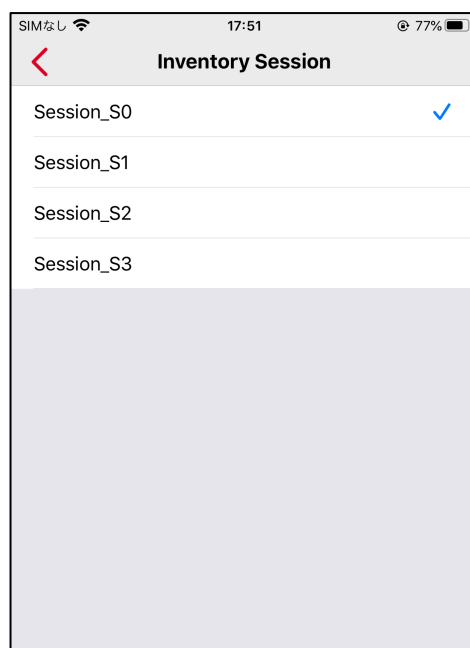


図 3-2-8-2 Inventory Session の選択リスト

3.2.9 Power Gain（電波出力）

初期値：30

設定範囲：5～30

単位：dBm

タップすると、Power Gain の設定画面に遷移します。

RF タグを読取する際の AsReader の電波出力の設定ができます。

一般的に設定された値が大きいほど読取の距離が長くなりますが、消費電力が大きくなるため、バッテリーの使用時間が短くなります。

RF タグとの距離が短くその数が多い時は、設定値を 25dbm 程度にすることで読取速度が最適になります。



図 3-2-9-1 Power Gain

3.3 LongRange2D 設定

LongRange2D 設定



図 3-3-1 LongRange2D 設定

LongRange2D 設定をタップすると、LongRange2D 設定画面に遷移します。
対象デバイス : ASR-R202G

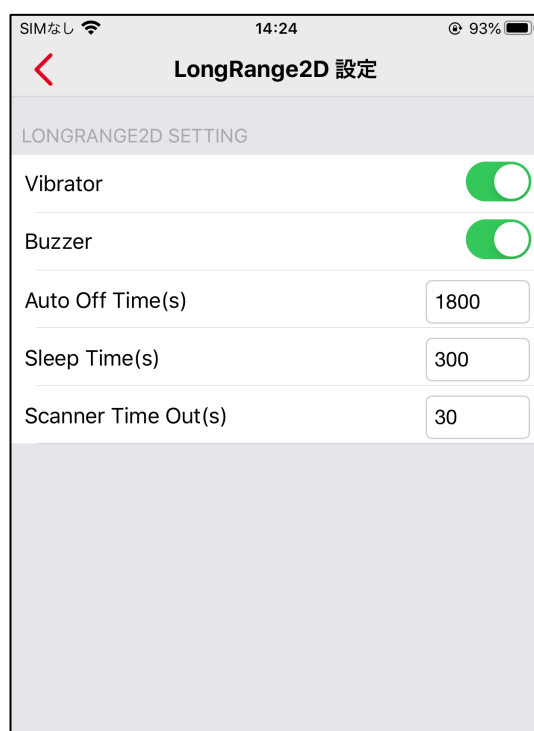


図 3-3-2 LongRange2D 設定画面

3.3.1 Vibrator

初期値 : On

バイブレーションの ON/OFF を設定できます。ON の場合、次のタイミングで振動します。

- 1.AsReader の電源 ON/OFF 時
- 2.スマートデバイスと AsReader の接続時
- 3.1D/2D コードの読取時

Vibrator



図 3-3-1-1 Vibrator

3.3.2 Buzzer

初期値 : On

Buzzer 音の ON/OFF の設定を行うことができます。ON の場合、次のタイミングで設定した音量の Buzzer 音が鳴ります

1. AsReader の電源 ON/OFF 時
2. スマートデバイスと AsReader の接続時
3. 1D/2D コードの読取時

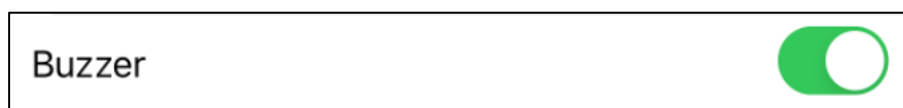


図 3-3-2-1 Buzzer

3.3.3 Auto Off Time (s)

初期値 : 1800

単位 : s

AsReader がスリープに入ってから、自動で電源が OFF になるまでの時間を設定できます。



図 3-3-3-1 Auto Off Time

3.3.4 Sleep Time (s)

初期値 : 300

単位 : s

AsReader がスリープになるまでの時間を設定できます

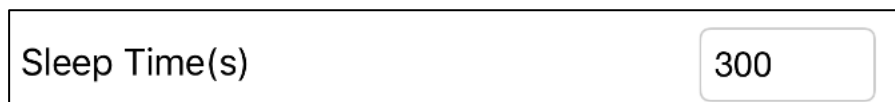


図 3-3-4-1 Sleep Time

3.3.5 Scanner Time Out (s)

初期値 : 30

単位 : s

AsReader 読取時のタイムアウト時間を設定できます。

Scanner Time Out(s)

30

図 3-3-5-1 Scanner Time Out

3.4 AsReader Finger-Type 設定

AsReader Finger-Type 設定

図 3-4-1 AsReader Finger-Type 設定

AsReader Finger-Type 設定をタップすると、ASR-023B 設定画面に遷移します。



図 3-4-2 ASR-023B 設定画面

3.4.1 AsReader Finger-Type 接続

ASR-023B 設定画面で AsReader Finger-Type 接続をタップすると、接続設定画面に遷移します。

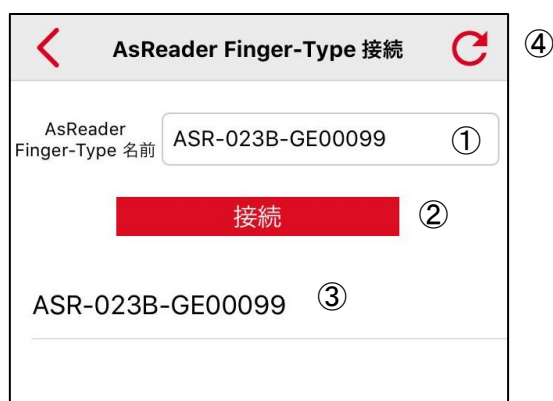


図 3-4-1-1 AsReader Finger-Type 接続画面

① AsReader Finger-Type 名前

初期値：空

入力/選択した ASR-023B デバイスのシリアル番号を表示します。

② 接続ボタン

タップすると、ASR-023B デバイスとの接続/切断を行います。
接続に成功すると、表記が「接続」から「切断」に変更されます。

③ 表示リスト

接続できる ASR-023B デバイスを表示します（ない場合は空）。
任意デバイスをタップすると、接続/切断の切り替えができるようになります。
接続されたデバイスの後ろにチェックマークを表示します。

④ 更新ボタン

タップすると、ASR-023B デバイスの表示リストを更新します。

3.4.2 エンコード

ASR-023B 設定画面で「エンコード」をタップすると、エンコード設定画面に遷移します。

初期値：ASCⅡ

変更する場合は、任意のエンコードを選択後に左上の戻るボタンをタップしてください。

エンコード	
ASCII	✓
UTF8	
ShiftJIS	

図 3-4-2-1 エンコード

3.5 「AsReader Camera Type」 使用

初期値：Off

On にすると、AsCamera の機能が使えるようになります。

※AsCamera をご利用の場合は別途契約の上、AppStore から AsLicense Biz APP のダウンロードが必要となります。ご契約については弊社営業までお問い合わせください。



図 3-5-1 「AsReader Camera Type」 使用

3.5.1 カメラへのアクセスを許可

AsReader Camera Type を On にして、初めて AsBrowser を起動した場合以下のメッセージが表示されます。図（左）

「OK」をタップすると、AsCamera 機能が使えるようになります。

「許可しない」をタップした場合、AsCamera 機能は使えません。

スキャンまたは設定ボタンをタップすると、以下のメッセージが表示されます。図（右）



図 3-5-1-1 カメラへのアクセス

AsCamera 機能を使う場合は iOS の設定アプリから以下の設定を行います。

- ・[プライバシー]→[カメラ]→AsBrowser のスワイプスイッチを On にする

3.5.2 認証成功

AsCamera 機能を使う前に、AsLicense Biz APP で認証をする必要があります。
AsBrowser APP で以下の認証アラートが表示されます。



3-5-2-1 認証アラート

「確定」をタップすると、AsLicense Biz APP へ遷移します。
認証完了後、AsBrowser APP へ戻り、認証結果が表示されます。

iOS デバイスに AsLicense Biz APP がダウンロード済みで、ライセンス発行が成功し、iOS デバイスの日付が契約の有効期限以内であれば、認証が成功します。



3-5-2-2 認証成功

認証が成功した後、AsBrowser APP へ戻り、AsCamera の機能が使えるようになります。

3.5.3 認証失敗

以下の場合、認証に失敗します。

1. iOS デバイスに AsLicense Biz APP がダウンロードされていない



図 3-5-3-1 AsLicense Biz APP がダウンロードされていない

解決方法：App Store から AsLicense Biz APP をダウンロードしてください。

2. AsLicense Biz APP にログインしていない



図 3-5-3-2 AsLicense Biz APP にログインしていない

解決方法：AsLicense Biz APP にログインし、ライセンス発行を行います。

3. AsLicense Biz APP でライセンスを発行していない

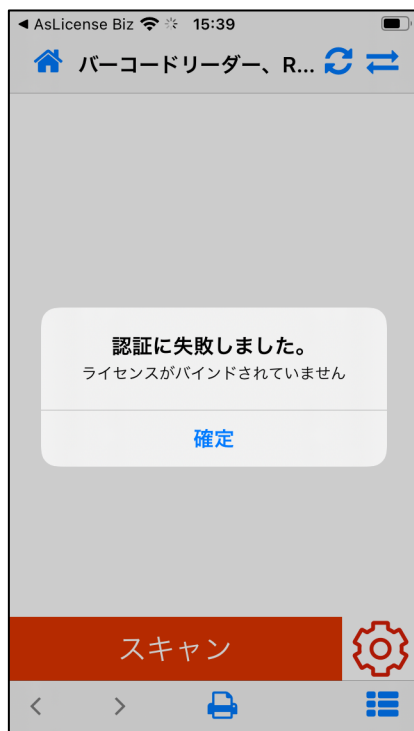


図 3-5-3-3 AsLicense Biz APP でライセンス未発行

解決方法：AsLicense Biz APP を起動して、ライセンス発行を行います。

4. AsLicense Biz APP の契約が有効期限外

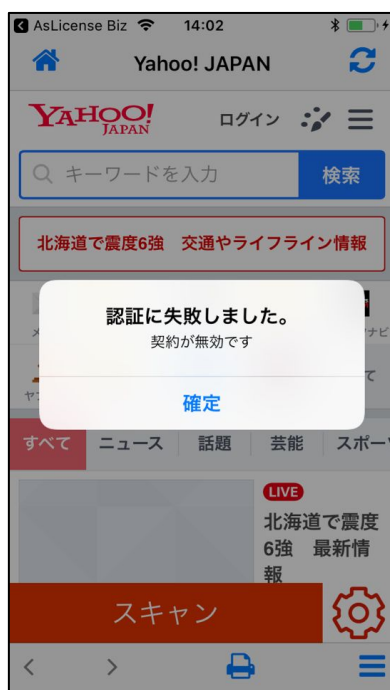


図 3-5-3-4 AsLicense Biz APP 契約異常

解決方法：ご契約の有効期限をご確認ください。有効期限に問題がない場合は弊社営業までお問い合わせください。

3.5.4 スキャン画面

「スキャン」ボタンをタップするとスキャン画面が表示されます。
スキャン画面の透明度は設定によって異なります。



図 3-5-4-1 スキャン画面

スキャンに成功した場合、以下の通り入力エリアに読取結果が表示されます。



図 3-5-4-2 スキャン成功

3.5.5 設定

図（左）の「設定」ボタンをタップして、AsCamera の設定画面に入ります（図右）。

注意：AsCamera の詳細設定について、下記「AsCamera 操作説明書」を参照してください。（「3 設定画面」を参照）

https://asreader.jp/download/asa-301p/docs/AsReader_Camera_Type_Demo_User_Manual_ObjectiveC_JP_1_1.pdf



図 3-5-5-1 設定

3.6 スキャンボタン設定

AsCamera のスキャンボタンの表示の ON/OFF を設定することができます。

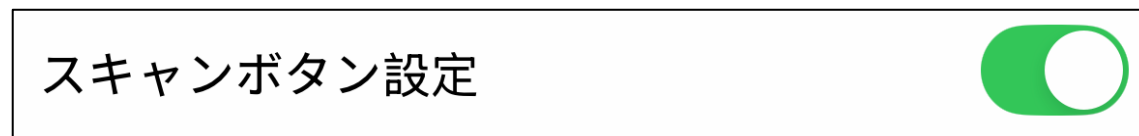


図 3-6-1 スキャンボタン設定

初期値 : On

AsCamera の設定画面で「音量増ボタンでスキャン」や「音量減ボタンでスキャン」を On にし、「スキャンボタン設定」を Off にしている場合、スマートフォンの音量ボタンで AsCamera スキャンが行えます。

※本機能は「AsReader Camera Type」使用が On の場合のみ有効です。

3.7 App のスキャン音設定

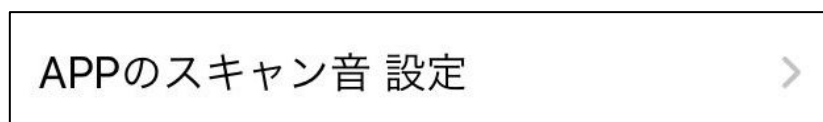


図 3-7-1 APP のスキャン音設定

App のスキャン音設定をタップすると、詳細設定画面に遷移します。



図 3-7-2 APP のスキャン音設定画面

3.7.1 スキャン音

初期値 : On

読取時のスキャン音の ON/OFF を設定することができます。

On の場合、AsReader で読み取った際にスキャン音が鳴ります。

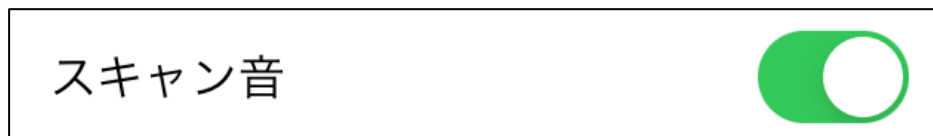


図 3-7-1-1 スキャン音

3.7.2 カスタム音

初期値 : Off

AsBrowser に表示した Web 画面にサウンド再生機能が実装されている場合に、このサウンドの再生の ON/OFF を設定することができます。

On の場合、AsReader で読取した際にサウンドが再生されます。

Web 画面のサウンド再生機能の実装方法は下記の通りです。

```
//メソッドを呼び出してサウンドを再生します。  
window.webkit.messageHandlers.playSound.postMessage({name:  
'incorrect2.mp3'});
```

再生できるサウンドファイル :

drum-japanese2.mp3

beep.wav

decision5.mp3

kotsudumi1.mp3

decision17.mp3

decision15.mp3

trumpet1.mp3

AsReader.wav

read.caf

boyon1.mp3

incorrect2.mp3



図 3-7-2-1 カスタム音

3.7.3 カスタムバイブレーション

初期値：Off

AsBrowser に表示した Web 画面にバイブレーション機能が実装されている場合に、このバイブレーションの ON/OFF を設定することができます。

On の場合、AsReader で読取した際に振動します。

Web 画面のバイブレーション機能の実装方法は下記になります。

```
//メソッドを呼び出して振動します。
```

```
window.webkit.messageHandlers.playVibrate.postMessage(null);
```

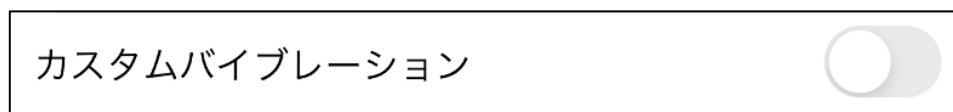


図 3-7-3-1 カスタムバイブレーション

3.7.4 通知音設定

初期値：Beep

App のスキャン音を設定することができます。

※この設定はスキャン音が ON の場合のみ有効です。



図 3-7-4-1 通知音設定

「通知音設定」をタップすると、通知音の選択画面に遷移します。
変更する場合、任意の通知音を選択し左上の戻るボタンをタップしてください。

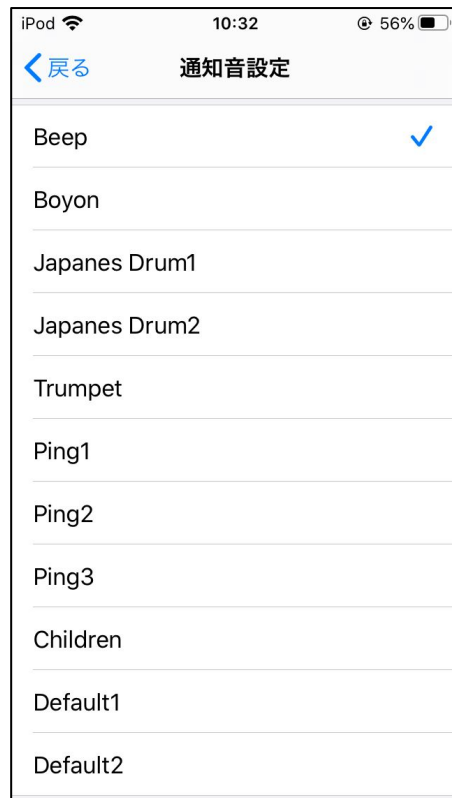


図 3-7-4-2 通知音選択リスト

3.8 接続先 URL

初期値 : <https://www.google.co.jp>

接続先の URL を設定できます。

アプリを起動すると、入力した URL にアクセスされます。

接続先URL <https://www.baidu.com>

図 3-8-1 接続先 URL

3.9 タイムアウト

初期値 : 10

単位 : s

設定範囲 : 10~60

設定した接続先 URL にアクセスした際のタイムアウト時間を設定できます。

タイムアウト
(10~60)s 10

図 3-9-1 タイムアウト

設定した時間以内にアクセスができなかった場合、エラーが発生します。

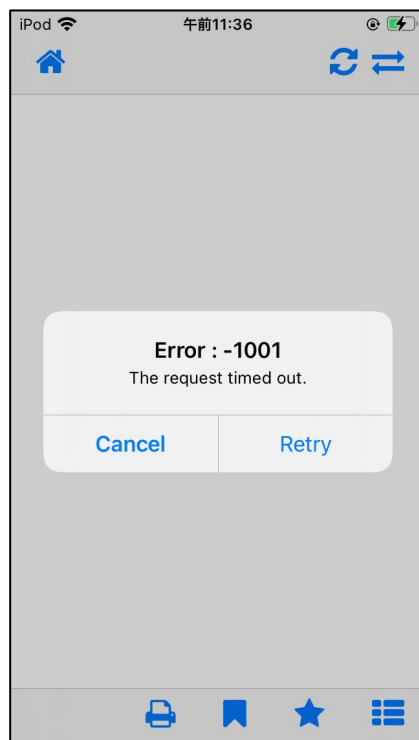


図 3-9-2 タイムアウトエラー

3.10 読取時に古い入力値を上書き

初期値：Off



図 3-10-1 読取時古い入力値を上書き

Off にした場合、読取時に古い入力値を上書きせず追加で入力されます。
例：“ASTERISK”の文字を読み取っている状態で、“01234565”の文字を読み取った場合、以下の通り“ASTERISK01234565”と表示されます。



図 3-10-2 「読取時古い入力値を上書き」 Off

On にした場合、読取時に古い入力値を上書きします。
例：“ASTERISK”の文字を読み取っている状態で、“01234565”の文字を読み取った場合、以下の通り“01234565”と表示されます



図 3-10-3 「読取時古い入力値を上書き」 On

3.11 readonly 属性を無視

初期値 : Off

テキストボックスの属性が **readonly** の場合、

On : スキャン後、フォーカスは **readonly** テキストボックスに遷移します。

Off : スキャン後、フォーカスは **readonly** テキストボックスに遷移しません。



図 3-11-1 readonly 属性を無視

3.12 PC 値を表示するかどうか

初期値 : Off

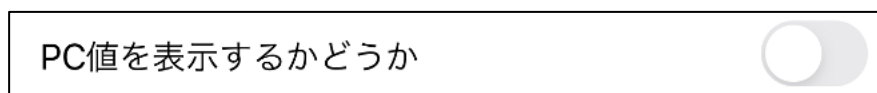


図 3-12-1 PC 値を表示するかどうか

例 : タグデータ「3000303BD08FC362F87FFFFFF」場合 (PC : 3000)

Off にした場合、RF タグをスキャンしても **PC** 値が表示されません。

以下のように「303BD08FC362F87FFFFFF」が表示されます。



図 3-12-2 「PC 値を表示するかどうか」 Off

On にした場合、RF タグをスキャンすると PC 値が表示されます。
 以下のように「3000303BD08FC362F87FFFF」が表示されます。



図 3-12-3 「PC 値を表示するかどうか」 On

3.13 Tab 読取で次項目へ移動

初期値：Off

バーコードに **tab** が含まれている場合、

On：スキャン後、フォーカスは次の項目へ移動します。

Off：スキャン後、フォーカスは次の項目へ移動しません。
スキャンされたデータに **tab** が表示されます。



図 3-13-1 Tab 読取で次項目へ移動

3.14 読取後の機能

初期値：次項目へ移動

タップすると、読取後の機能の選択画面に遷移します。

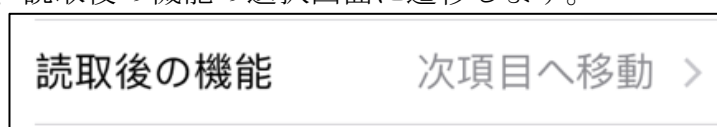


図 3-14-1 読取後の機能

読取後の機能の選択リスト：ユーザー処理、次項目へ移動、フォーム送信、Return キー入力、フォーカスを外す、何もしない

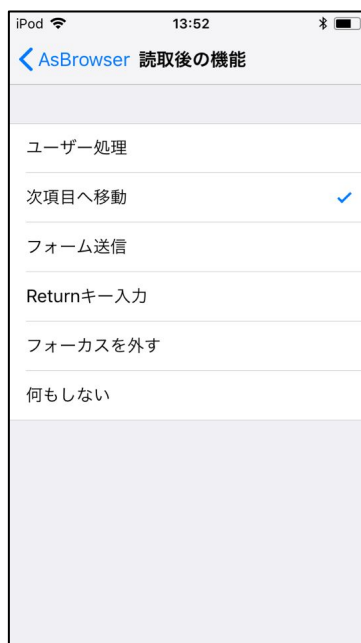


図 3-14-2 読取後の機能の選択リスト

ユーザー処理：ユーザーが設定した処理を行います。

次項目へ移動：読取後にフォーカスは次のテキストボックスへ移動します。

Google アカウントの作成を例にあげると、下記のようになります。

スキャン前のフォーカス：「姓」のテキストボックス

スキャン後のフォーカス：「名」のテキストボックス

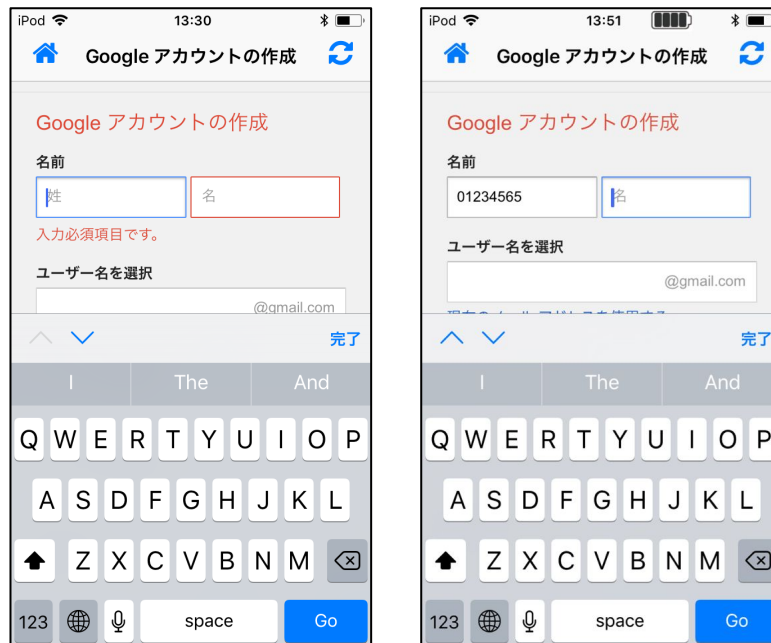


図 3-14-3 次項目へ移動

フォーム送信：スキャンした内容を直接送信します。

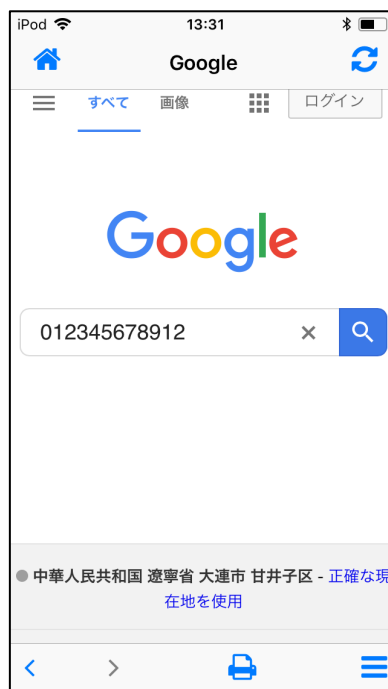


図 3-14-4 フォーム送信

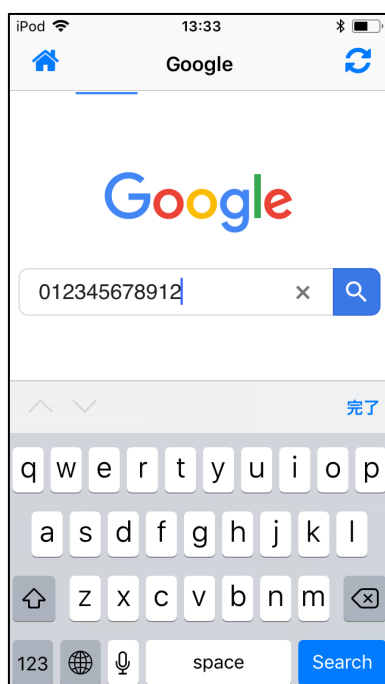
Return キー入力：スキャンした内容を入力した後 **return** キーを入力します。

フォーカスを外す：スキャンした内容を入力した後、フォーカスが消えます。図（左）

何もしない：スキャンした内容がそのままテキストボックスに表示され、末尾のフォーカスが点滅します。内容は自動送信されません。図（右）



フォーカスを外す



何もしない

3.15 読取完了まで新規読取を無視

初期値：Off

RF タグを読み取る際、複数のタグが連続で読み取られます。

読取データが長い場合にこの設定を **On** にしてください。

1 回目の読取データが完全に送信されない内に 2 回目の読取を行おうとした場合、

On：読取データの入力が完了するまで新規読取を無視します。

Off：読取データの入力が完了する前に新規読取が行われます。

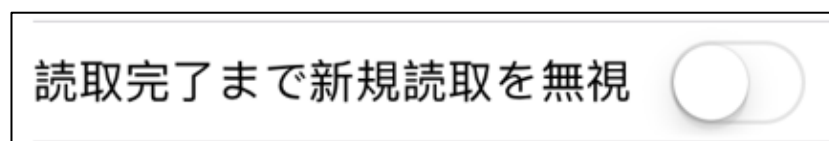


図 3-15-1 読取完了まで新規読取を無視

3.16 AsReader バッテリー残量表示

初期値：Off

AsReader バッテリー残量表示

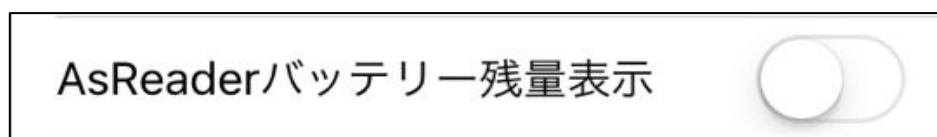


図 3-16-1 AsReader バッテリー残量表示設定

On の場合、AsReader のバッテリー残量が表示されます。

Off の場合、AsReader のバッテリー残量が表示されません。



図 3-16-2 バッテリー残量表示 (On)

3.17 ナビゲーションバー

初期値：常に表示

タップするとナビゲーションバーの表示の選択画面に遷移します。



図 3-17-1 ナビゲーションバー

選択リスト：常に表示、非表示、スクロール時に表示



図 3-17-2 ナビゲーションバー表示の選択リスト

ナビゲーションバーとは画面の一番上の部分になります。
下図青い枠の部分をご参照ください。



図 3-17-3 常に表示



図 3-17-4 非表示

スクロール時に表示：

ページを上スクロールする場合、ナビゲーションバーが表示されます。図(左)

ページを下スクロールする場合、ナビゲーションバーが表示されません。図(右)



図 3-17-5 スクロール時に表示

3.18 ツールバー

初期値：常に表示

タップするとツールバー表示の選択画面に遷移します。



図 3-18-1 ツールバー

選択リスト：常に表示、非表示、スクロール時に表示

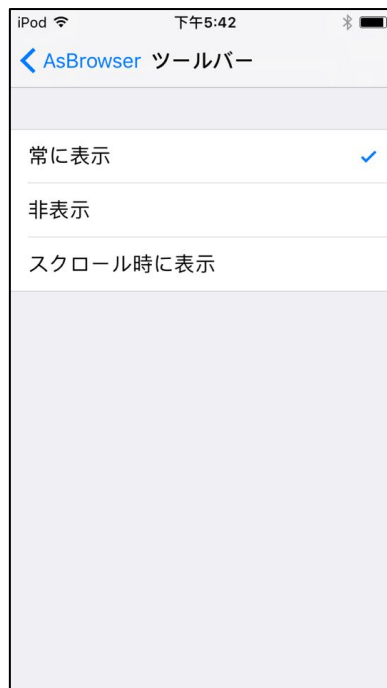


図 3-18-2 ツールバーの選択リスト

ツールバーとはページの一番下の部分になります。
 下図青い枠の部分をご参照ください。
 常に表示



図 3-18-3 常に表示

非表示



図 3-18-4 非表示

スクロール時に表示：

ページを上スクロールする場合、ツールバーが表示されます。図（左）

ページを下スクロールする場合、ツールバーが表示されません。図（右）



図 3-18-5 スクロール時に表示

3.19 ホームボタン設定

初期値 : On

ナビゲーションバーの左側のホームアイコンの表示有無を設定できます。



図 3-19-1 ホームボタン設定 On

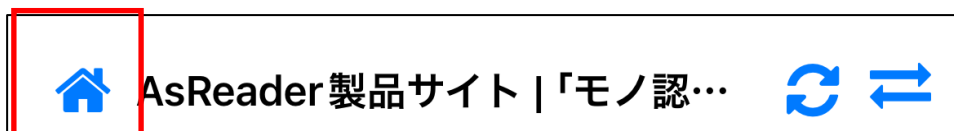


図 3-19-2 ホームボタン設定 On

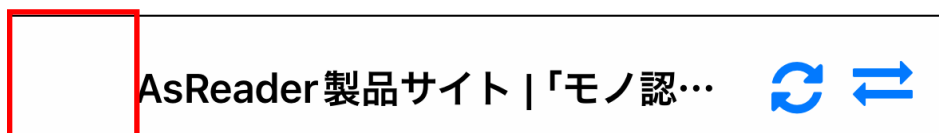


図 3-19-3 ホームボタン設定 Off

3.20 リフレッシュボタン設定

初期値 : On

ナビゲーションバーの右側のリフレッシュアイコンの表示有無を設定できます。

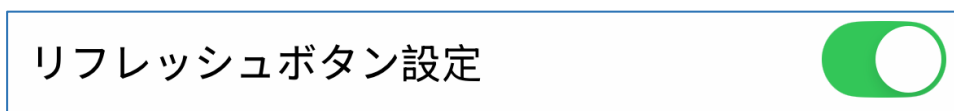


図 3-20-1 リフレッシュボタン設定 On

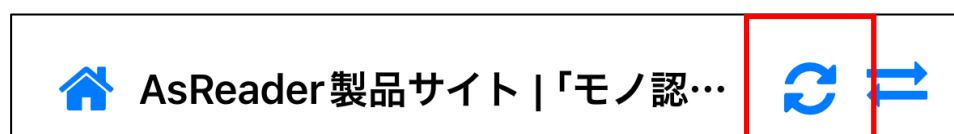


図 3-20-2 リフレッシュボタン設定 On



図 3-20-3 リフレッシュボタン設定 Off

3.21 タグ一覧画面の“+” ボタンの表示

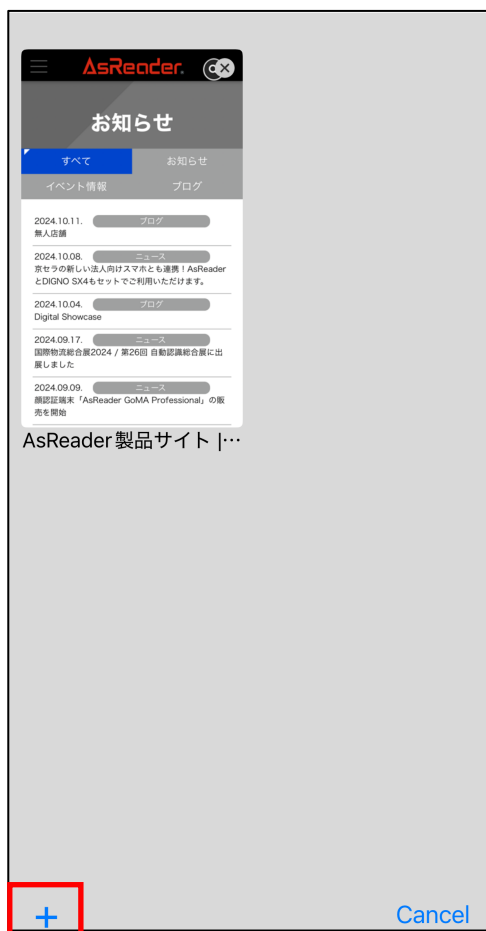
初期値：On

タグ一覧画面左下の「+」アイコンの表示有無を設定できます。

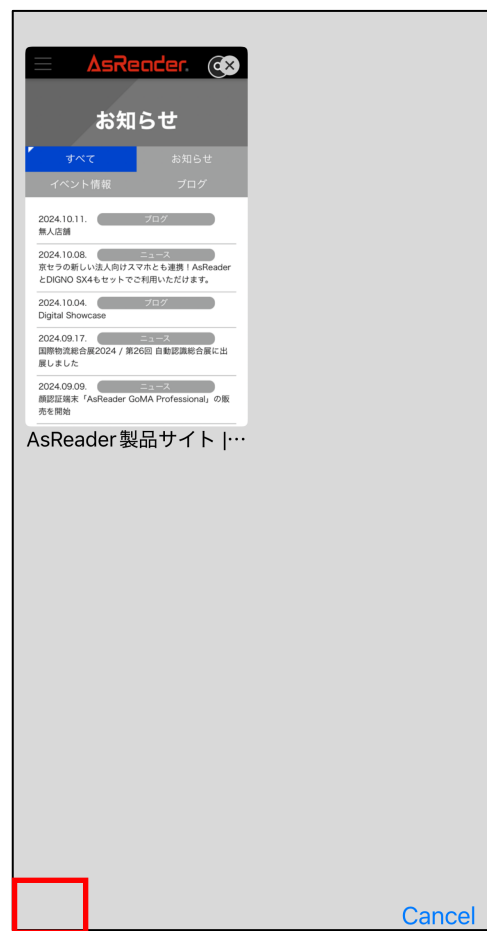
タグ一覧画面の“+” ボタンの表示



図 3-20-1 ホームボタン設定 Off



タグ一覧画面の“+” ボタンの表示 On



タグ一覧画面の“+” ボタンの表示 Off

3.22 ブックマーク

初期値 : Off

ツールバーのブックマークアイコンの表示有無の設定ができます。



図 3-22-1 ブックマーク

On にすると、ツールバーにブックマークのアイコンが表示されます。

左側のアイコンをタップすると保存するページの編集画面に遷移します。

右側のアイコンをタップすると、保存したブックマークリストが表示されます。

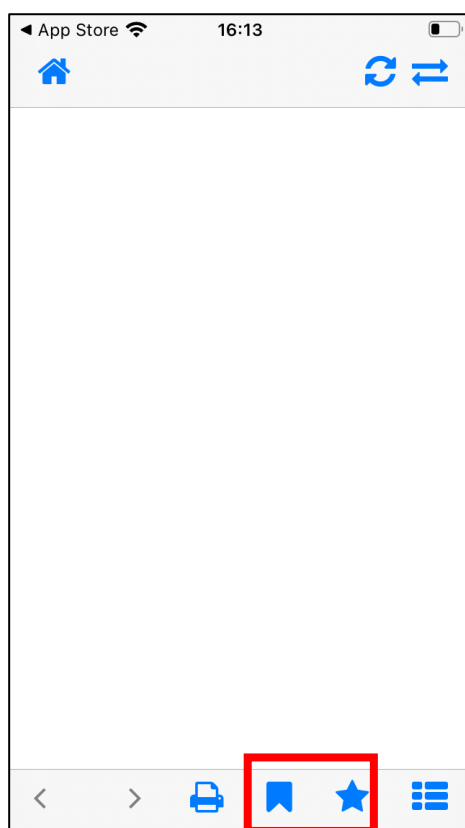


図 3-22-2 ブックマークアイコン

保存するページを編集：

「図 3-22-2」左側のアイコンをタップすると、編集画面に遷移します。
名前をタップすると、登録するブックマークの名前が編集できます。
保存ボタンをタップすると、編集画面が閉じブックマークが保存されます。

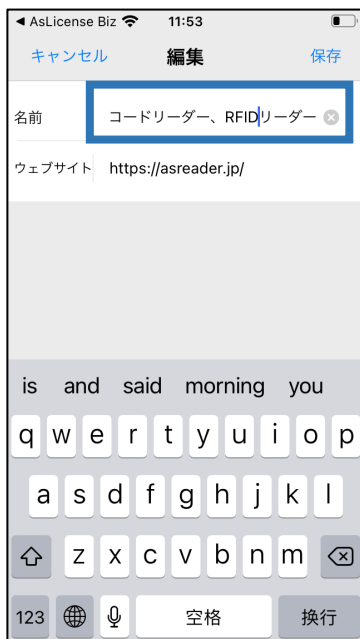


図 3-22-3 編集画面

ブックマークリスト：

「図 3-22-2」右側のアイコンをタップすると、保存したブックマークリストが表示されます。

ブックマークを 1 つも保存していない場合、一覧には何も表示されません。
表示されているブックマークをタップすると、該当のページへ遷移します。
画面右下のキャンセルボタンをタップすると、ブックマークリストが閉じます。



図 3-22-4 ブックマークリスト

保存したブックマークを編集：ブックマークを左側にスワイプすると、削除か編集を選ぶことができます。

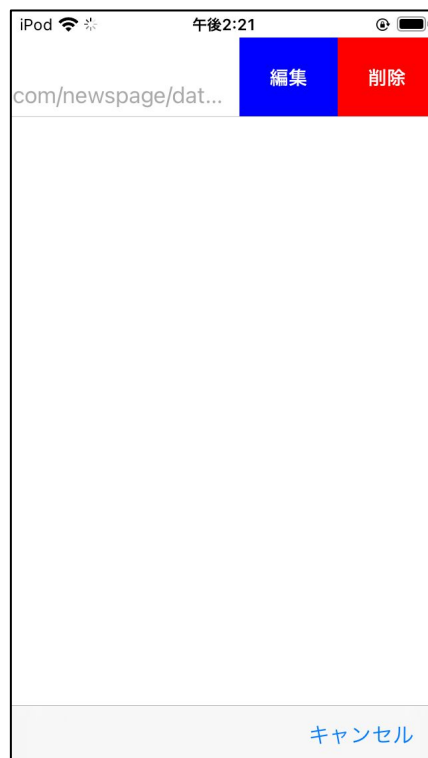


図 3-22-5 保存した URL を編集

「編集」をタップすると、ブックマークの編集画面へ遷移します。
「削除」をタップすると、対象のブックマークが一覧から削除されます。

3.23 ボタンで戻る・進む

初期値：On

ツールバーの[<|>]アイコンの表示有無の設定ができます。

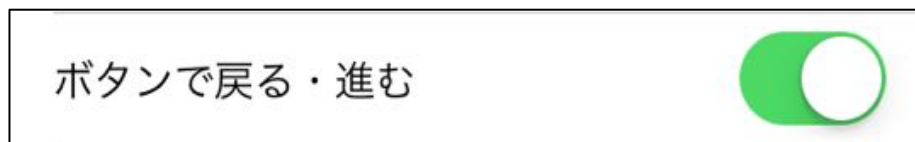


図 3-23-1 ボタンで戻る・進む

On：[<|>]アイコンが表示されます。[<]で前ページに戻る、[>]で次ページに進むことができます。図（左）

Off：[<|>]アイコンが非表示になります。図（右）



図 3-23-2 [<|>]アイコンが表示/非表示

3.24 スワイプで戻る・進む

初期値：On

画面スワイプ時の動作の設定ができます。

On：左スワイプで前のページに戻る、右スワイプで次のページに進むことができます。

Off：左右にスワイプでページ移動ができなくなります。

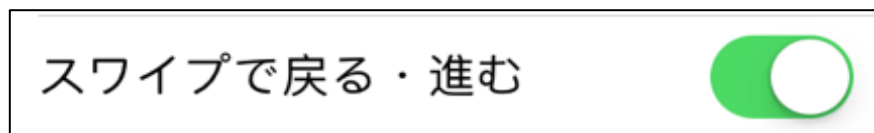


図 3-24-1 スワイプで戻る・進む

注意：本設定を反映する場合はアプリの再起動を行ってください。



図 3-24-2 「スワイプで戻る・進む」を変更

3.25 デスクトップ用 Web サイトを表示

初期値：Off

タップすると、「デスクトップ用 Web サイトを表示」の設定画面に遷移します。



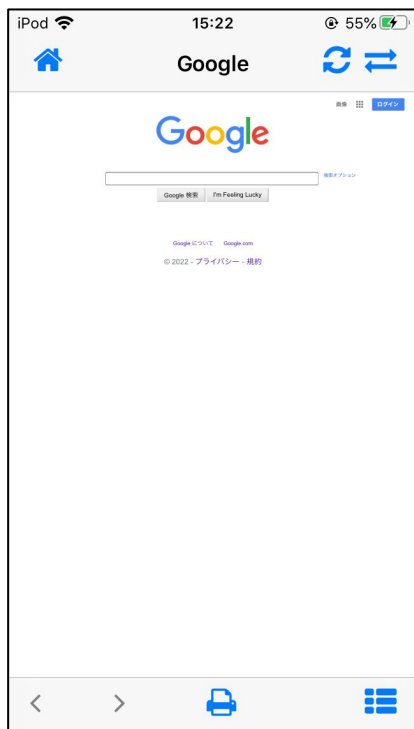
図 3-25-1 デスクトップ用 Web サイトを表示

On の場合、ページが PC 用の WEB サイトで表示されます。

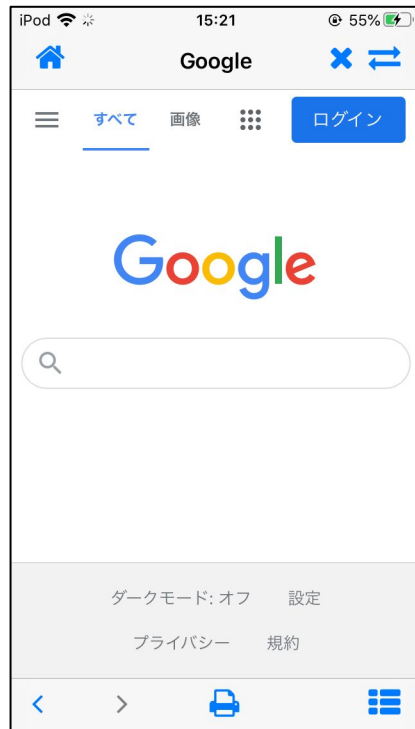
注意：本機能は iOS 13 以上のみ有効です。



図 3-25-2 デスクトップ用 Web サイト表示の On/Off



デスクトップ用 Web サイト表示 On



デスクトップ用 Web サイト表示 Off

3.26 ユーザエージェント

ユーザエージェント



図 3-26-1 ユーザエージェント

タップすると、ユーザエージェント設定画面に遷移します。

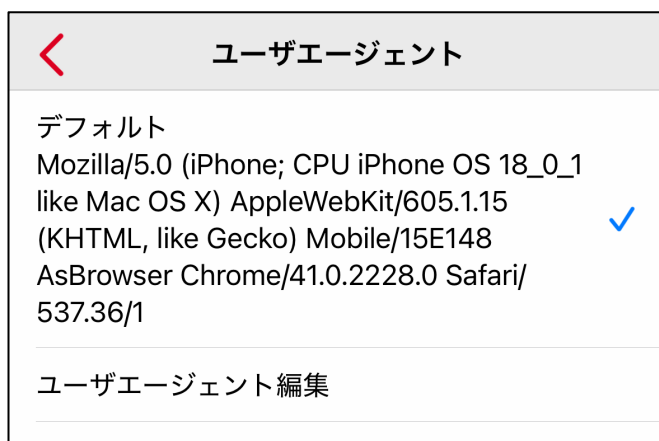


図 3-26-2 ユーザエージェント設定画面

- デフォルト：使用している端末のデフォルトユーザエージェントです。
- ユーザエージェント編集：タップすると、ユーザエージェント編集画面に遷移します。

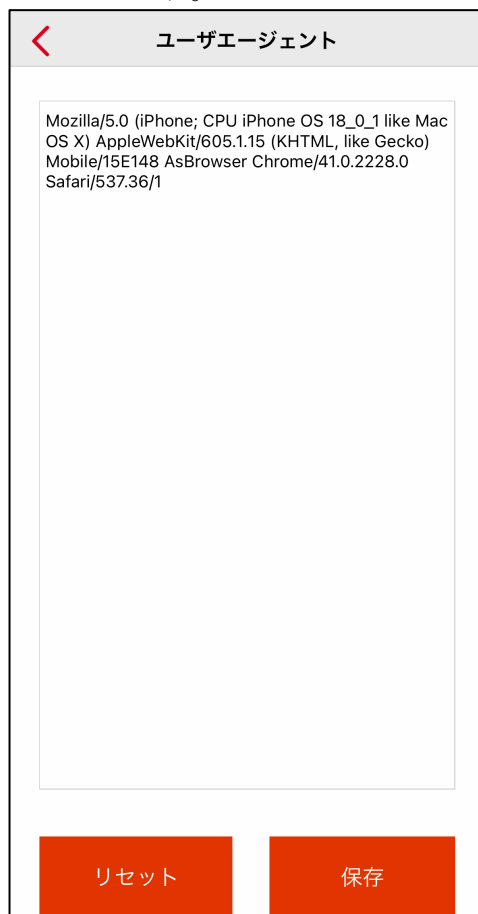


図 3-26-3 ユーザエージェント編集画面

テキストボックスをタップすると、ユーザエージェント内容を編集できます。ユーザエージェントを編集後に保存ボタンをタップすると、入力内容が保存されます。

リセットボタンをタップすると、デフォルトユーザエージェントにリセットされます。

3.27 キャッシュクリア

初期値：Off

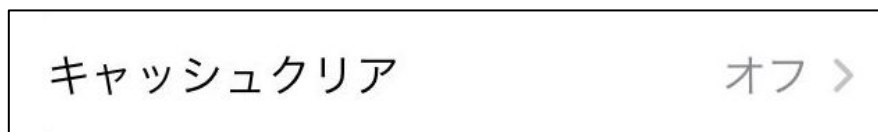


図 3-27-1 キャッシュクリア

タップすると、キャッシュクリア設定画面に遷移します。

選択リスト：オフ、一度のみオン、常にオン

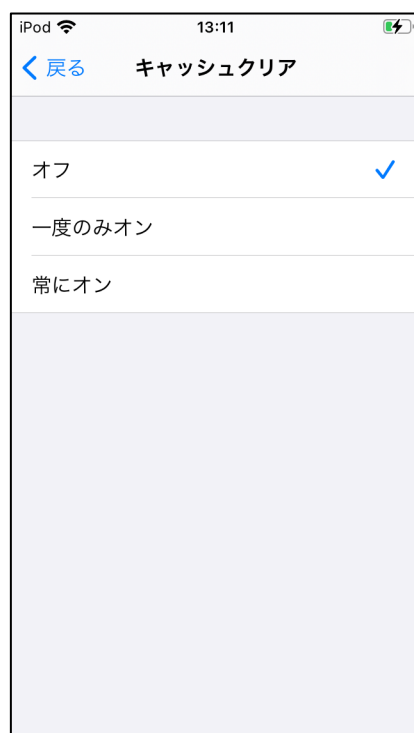


図 3-27-2 キャッシュクリアの設定画面

オフ：

キャッシュクリアを行いません。

一度のみオン：

設定後にアプリを起動すると、キャッシュクリアを行います。

また、キャッシュクリア後、本設定は自動でオフに戻ります。

常にオン：

アプリを起動する度にキャッシュクリアを行います。

3.28 Safari 連携機能

初期値：Off



図 3-28-1 Safari 連携機能

On の場合、「接続先 URL」に入力されている URL 以外にアクセスすると Safari が起動され、Safari 側でその URL の画面を表示します。

Off の場合、Safari は起動しません。

注意：URL を Safari で開くかどうかは URL ではなくドメインで判断します。

例：「接続先 URL」に「<https://www.google.com>」が入力されている場合

「<https://mail.google.com>」にアクセスした場合、AsBrowser で表示します。

「<https://yahoo.co.jp>」にアクセスした場合、Safari で表示します。

4 アプリ許可ドメイン一覧

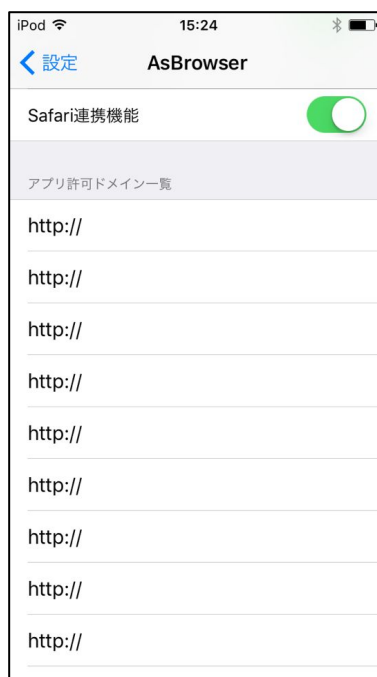


図 4-1 アプリ許可ドメイン一覧

本機能は **Safari 連携機能** が **On** の場合のみ有効です。

アプリ許可ドメイン一覧リストに URL を入力すると、**AsBrowser** で該当 URL へアクセスできます。

例：リストに **https://www.google.com** が登録されている状態

AsBrowser で対象ページを開くと **AsBrowser** で表示されます。

リスト以外のページを開いた場合、**Safari** で表示されます。

5 APP を起動

設定完了後に AsBrowser APP を起動すると、接続先 URL に入力したウェブページが表示されます。

AsReader デバイスに接続、または AsCamera を On にすると、読取ができるようになります。

AsCamera スキャンに関しては「3.5「AsReader Camera Type」使用」をご参照ください。

AsReader デバイスを接続して、デバイスのトリガーを押下すると、バーコードをスキャンできるようになります。



図 5-1 スキャン成功

タグ機能：ナビゲーションバーの一番右のアイコンをタップすると、タグ一覧画面へ遷移します。



図 5-2 タグアイコン

画面左下の「+」ボタンをタップすると、現在表示しているページを一覧に追加します。

一覧に追加したページをタップすると、該当のページに遷移します。

注意：アプリを再起動すると、一覧に追加したページはクリアされます。

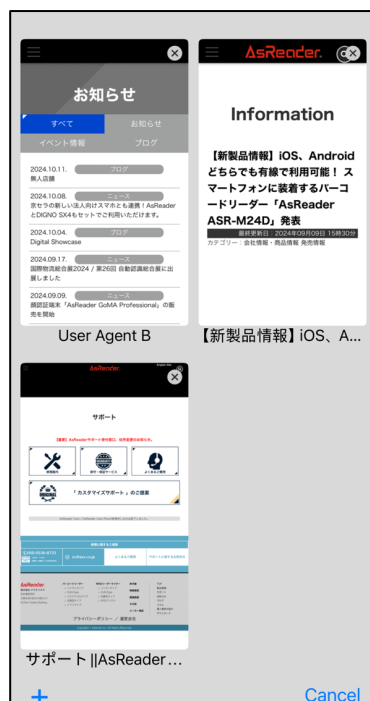


図 5-3 タグ一覧画面

プリンター機能：ツールバーにあるプリンターアイコン（図左）をタップすると、プリンターオプション画面（図右）に遷移します。



図 5-4 プリンター

アプリケーション
AsBrowser

操作説明書

2024 年 10 月作成

株式会社アスタリスク
〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-6-16 新大阪大日ビル 201